

県体育指導委員・九州地区体育指導委員功労者表彰



田定光さん 岩崎幸男さん

鹿児島県体育指導委員研究大会において、末吉町 飛山にお住まいの岩崎幸男さん、九州地区体育指導 委員研究大会において、末吉町南法楽寺にお住まい の清田定光さんが、体育指導委員として永年尽力さ れたことを評価され、体育指導委員功労者表彰を受 けられました。

体育指導委員として岩崎さんは 10 年間、清田さんは 22 年間という長きにわたり地域の社会体育振興とニュースポーツの普及に尽力されたことが認められたものです。

今後お二人の益々のご活躍をお祈りいたします。

夢を叶えるためには夢を追い続けること



1月23日、財部きらめきセンターに北京オリンピック銅メダリスト朝原宣治さんをお迎えして、曽於市体育協会主催のスポーツ講演会が開催されました。朝原さんは36歳にして北京オリンピックに出場し、陸上競技男子400mリレーのアンカーとして悲願の銅メダルを獲得されました。現在は、大阪ガスに在籍し、広報活動の傍ら、ジュニアやユース世代の選手育成に取り組まれています。

講話の中で「夢を叶えるためには、夢を追い続けること」であり、オリンピックという最高の舞台で悲願であったメダルを手にすることが出来たことは、夢に向かって、努力を惜しまず、常に夢を強く思い続けたことだったそうです。足を疲労骨折してしまった時は、休むことの大切さや、気持ちの切り替え方を学び、落ち込んだ自分を支えてくれた家族があったことに気付くことができたそうです。振り返れば周りの人に助けられ、夢を叶えることができたのだと思ったそうです。それから、何事も長続きするには、楽しんでやることだと話してくれました。



市内の人権を守るために



左から都甲支局長、退任された橋本たえさん、新任の 伊尻可壽代さん、住吉勉さん、末廣副市長

1月13日、市長室で人権擁護委員の委嘱状交付式 が行われました。

今回は、人権擁護委員として財部地区の住吉勉さん (初)、伊尻可壽代さん(初)に法務大臣からの委嘱状 を鹿児島地方法務局都甲昇吾鹿屋支局長から交付され

曽於市には、各地区3人ずつの9人が人権擁護委員 として委嘱され、市内で人権侵害等のないよう人権相 談をはじめ各種活動が展開されています。

末廣副市長は「人権問題をはじめ、地域のさまざま な相談などがあると思いますが、今までの経験を生か し曽於市の人権等を守るためにご尽力ください。」と話 されました。

特設人権相談

日 時 3月9日 (水) 午前10時から午後3時まで 場 所 財部交流館

『本とあそぼう 全国訪問おはなし隊』来たる!



1月23日、全国訪問おはなし隊がやってきました。こ のおはなし隊は、講談社の90周年事業で行われている もので、全国47都道府県におはなしを届けるものです。 鹿児島県内でも1月だけで、25ヶ所を巡ったそうです。

このおはなし隊は、たくさんのおもしろい本を積んだ 大きなクルマで各地を訪問し、子どもたちの大好きな絵 本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本を読んだり触っ たりする楽しさを知って貰うために行っているものです。

曽於市立図書館では、約100人の親子連れが集まり、 おなじみの「三びきのこぶた」が西欧風でちょっとちがっ た紙芝居は子ども達にとても好評のようで楽しそうなき らきらした笑顔がとても印象的でした。当日は、キャラ バンカーの中の本を読んだり、読み聞せや紙芝居を味 わったりして楽しみました。

たくさんの親子連れの来訪に、講談社の皆さんも、「こ の町の人々の熱心さに驚きました。」との感想を述べら れました。

県下一周駅伝選手といっしょに楽しく走りました



2月2日、大隅町の月野小学校で今年県下一周駅 伝大会に出走する選手を招いて持久走大会がありま

招待された選手は、上川浩幸(教育委員会末吉分 室勤務)さんと平川慎介(道の駅すえよし勤務)さ んで、2人はすべてのプログラムに気持ちよさそう に楽しみながら走っていました。こども達も憧れの 選手といっしょに走れて普段より気合の入っている 様子でした。

5・6年生女子で一番になった山村ひかりさんは 「上川選手がずっといっしょに走ってくれて、いつも より早く走る事ができたような気がします。体や心 も鍛えて将来の夢バレーボールの選手か保育士さん になれるようにどんな事にも一生懸命取り組みたい と思います」と笑顔で話してくれました。



マスク寄附 いち早い対応に感謝



2月1日、市役所市長室に宮崎ヒューマンサービス の方が訪問し、インフルエンザや新燃岳の降灰防止の 為に使ってくださいとマスクの寄附がありました。

宮崎ヒューマンサービスさんは、福祉用具の販売・レンタルを行っている会社でかねてから曽於市の事業所等にお世話になっているという事もあり、曽於市民の健康予防にと4万枚のマスクを贈られました。

市長は「いち早くこのような善意を頂き、本当に感謝致します。新燃岳の降灰が影響するであろう地域の小・中学校児童・生徒に配布をしたいと思います。」とお礼を述べました。

救命救急功労者感謝状贈呈



1月19日、曽於地区消防組合消防本部で、救命救急功労者感謝状贈呈式がありました。

この感謝状は、有明町にお住いの春田豊美さん・ひで子さんで夫妻に贈られたもので、昨年 12 月 22 日曽於市末吉町岩﨑の曽於市葬苑で、親族の火葬が終わり帰ろうとした時同じ場所に来ていた別の故人の親族が心肺停止になり、胸骨圧迫等を施しこの方を蘇生させた事への感謝状です。

この倒れられた男性は、春田さんのご主人が救命講習を受けたばかりだった事と奥さんが福祉施設看護師だったというとても希なケースだった事で、12月25日に退院されたそうです。現場に居合わせた方が迅速的確な救命措置がなければ助かったかどうかは分からないということでした。

いつ何時このようなケースに遭遇するか分かりません。少しでも慌てず対応できるよう講習等には積極的に参加すべきと感じる出来事でした。

ヤングファーマーズクラブ財部支部 ボランティア作業



2月2日、曽於市ヤングファーマーズクラブ財部支部 の皆さんが財部駅周辺のボランティア清掃作業を行い ました。

同支部のメンバーはこれまで市内のカーブミラーの清掃や財部町の陣ヶ岡の清掃など定期的にボランティア作業を実施しています。

同日は、新燃岳の噴火の影響で財部駅周辺は降灰で 覆われ、7名のメンバーは皆マスクや作業着を着用し丁 寧に掃除をされていました。作業が終わると以前のき れいな財部駅がよみがえっていました。

財部支部長の中山博さんは「地域の美しい環境を 守るため少しでもお役に立てればと思い作業しました。 今後もこの活動は続けていきたいです。」とおっしゃっ ていました。



市制 5 周年記念式典



1月16日、末吉総合センター大ホールで曽於市市制施行5周年記念式典が開催されました。式では、市長や来賓のご挨拶の後、市制発展にご尽力頂いた方々への表彰などがありました。

その後全国実業団対抗女子駅伝で大活躍し、現在テレビ・ラジオで活躍されています熊本市議の松野明美さんを講師に招き「いちばんじゃなくて、いいんだね。生まれてきてくれてありがとう」と題した講演会が行われました。

松野さんは、小学5年生の時地元のマラソン大会で優勝し、両親の喜ぶ顔を見たとき走る喜びを感じ、その後は一番以外は、価値がないという思いで走ってこられました。しかし、息子がダウン症として生まれてきて、その子を育てる中で人生は競争ではなく頑張れば一番じゃなくてもいいんだと気づかされたそうです。その話で会場は大きな感動の渦となりました。

恒吉小学校



そば祭り開催

2月1日、恒吉小学校で「そば祭り」が行われました。 恒吉小は保護者や地域長寿会の協力を得て、そばの栽培を行っており、その集大成の活動が「そば祭り」です。

9月2日そばの種まき、11月12日そば刈り、12月9日そばの実落としと、一連の活動を通して約108kgの実を収穫し、それが約85kgのそば粉になりました。

当日は天気にも恵まれ、全児童(16人)、保護者(12名)、教職員(10名)、祖父母を含む長寿会の方々や地域の方々(35名)が、「そば祭り」に参加しました。

1 校時~3 校時は、長寿会の方々の指導を受けながら真剣にそば打ち、4 校時は、グランドゴルフ大会(約60人の参加)をして楽しみました。

そば会食(約70名の参加)では、5・6年生の育てた椎茸の出汁がきいた手打ちそばを「おいしい」とおかわりして食べていました。お土産に手打ちそば・おにぎり・花の苗3種を渡しました。みんな笑顔で大満足のそば祭りになりました。

曽於市青少年リーダー研修(司書体験)



本事業は、教育委員会と青少年指導員会が共催し、 曽於市青少年研修活動事業を年間通して実施してい ます。

12月25日に一日司書体験を行いました。曽於市立図書館末吉本館にて研修生22名が参加し、午前は図書の整理や役目を終えた本の除籍作業を行い、午後からは一般の参加者を交えたクリスマス会で、本の読み聞かせや百人一首をしました。

また、みんなで持ち寄ったプレゼント交換もして 研修を盛り上げました。

普段出来ない図書業務や本の読み聞かせ等ができ 充実した研修になったようです。司書体験を通して 本の大切さを実感したことでしょう。